

環境保全委員会 グリーン購入小委員会議事録（第一回）

日時：2008年7月31日（木）15：30-16：15

場所：九段校舎別館2階 事業室内会議室

委員：勝又次長（座長/事業室）、加藤課長（多摩事務部）、太田主任（研究開発センター付国際日本学研究中心事務室）、近藤主任（学務部学部事務課）、中村主任（多摩事務部現代福祉学部事務課）、青山主任（事業室環境保全課）、オブザーバー：法政大学環境センター榎本氏

議題：初回のため、委員自己紹介が行われた。

（1）「グリーン購入小委員会」発足経緯と役割について

勝又座長より、昨年度までのグリーン購入部会（市ヶ谷及び多摩）がEMSシステム変更により管理職とエコマネージャーで構成する小委員会になった（市ヶ谷・多摩合同）こと、この小委員会の役割としては「グリーン購入の推進」担当である旨説明があった。

（2）2008年度「グリーン購入の推進」方針について

資料1のとおり、古紙偽装問題の影響を受けて購入実績データの信頼性が確保できないため、今年度は目標設定を行わない。

「グリーン購入ガイドブック」については、事業室で法的事項のみチェックし公表済（報告）。

「環境物品等の調達に関する基本方針」（グリーン購入法）資料について説明。

（3）2008年度4-6月期のグリーン購入実績報告

2008年4-6月の資料に基づき、グリーン購入集計に関する説明があった。①市ヶ谷と多摩で集計元業者が異なる（意見：一番取引の多い業者1社に絞って集計してもよいのでは？）、②同じ商品を購入しても購入業者によってはグリーン購入としてカウントされない場合もある、③グリーン商品未対応機器消耗品の場合努力できない、金額集計なので前述消耗品が高額の場合達成できない（意見：次年度以降、購入金額ではなく購入個数で集計という方法はどうか）、等、現状での問題点が出された。

2007年度秋に一斉導入されたプリンタに対応するトナーがグリーン商品対応のないものであるため、今後備品導入あるいはリプレイス時には交換消耗品についても調査し、同等品であればグリーン商品対応のある機種を選定する視点が必要ではないかとの意見が出された。

（4）今年度の取組みについて

①部局で眠っている消耗品他の「リユース業務」を日常業務のなかで行えないか（リサイクルとなるとむしろ資源・リサイクル小委員会になるため、資源・リサイクル小委員会に提案）。

②「グリーン購入ニュース」をメールあるいは掲示板で流す。

③グリーン購入キャラクターを募集する（HPに掲載）。応募の中から9月中に選定し、キャラクターのつたエコバックを作り（株エイチ・ユーに協力依頼）、頒布する。

④10月20日より予定されている「環境展」に上記③を出品する。

（5）次回以降会議予定について

10月31日（金）15：00- 於：九段校舎別館2階 事業室内会議室

以上